

大人組 Kansai  
9月号  
780yen  
\*

若狭と京都を結ぶ涼やかな道

鯖街道を往く

甘鯛街道を辿る

静謐な山宿に泊まる





川床でいただく料理は、清らかな源泉の水と山の空気が、その味を決定する。

# 貴船の豊かな自然に寄り添う 洗練された空間で憩う

取材 堂下まみ子 撮影 松村健吉

## 「右源太」

何と気持ちのいい空間なのだろう。大きくとられた窓からは山の緑が冴え、奥が裏に座れば川のせせらぎが聞こえる。柔らかな日差しが琉球畳に、松模様を浮かび上がらせ、木の香りと温もりに包まれる。3年前、老朽化した建物をメソネットタイルの部屋に改装。ご主人の鳥居宏行さんは、「ここにあって、この気を取り入れられるようにしました」と言う。部屋は和洋2室だけ。木、竹、石、土など天然素材で構成された部屋は、周りの自然と一体化しているようだ。

食事は貴船川の川床で、清流を泳いでいるかのような躍動感のある鮎の塩焼き、蠟の子の卵じめ、ゴリ、川エビなど、薄味だがしつかりと主張のある京料理を一品一品味わう。幸せ。潮音と溢れる緑。自然も心地走のつだ。

辺りを散策するよりも部屋に留まりたいと感じるのは、それほどここが落ち着くからだ。ワイングラスの並ぶ棚や開閉できる木製のフラインドなど、お洒落でありながら寛ぎへの配慮もさりげない。この部屋で文を書いたり絵を描いたりするために遠方から泊まりに来るお客もいるというのを知り。

2階テラスの露天と1階の内風呂を往復して入り比べるもよし、窓辺のロッキングチェアでまじろむもよし。ここに泊まる者だけのために用意された贅沢な空間と時間、たぐふりと楽しみたい。



巨船の自然を全身に切り取ったような大きな窓。ジョージナカヤマの家具やイサム・ノグチの灯りがぜひよく演劇。



足元の後山に、貴船街道を挟んで向かいが川床のある貴船川。



山側にある露天風呂もいっしょく川側の緑が映る内風呂の木の香りに癒される。



「ナチュリストで茶人な旅館のおやじを目指しています」と語る鳥居さん。



### 右源太

住所 / 京都市左京区鞍馬貴船町76  
電話 / 075-741-2146  
チェックイン / 15:00 チェックアウト / 11:00  
定休日 / 不定休  
予約 / 要  
料金 / 宿泊 洋室3万9900円〜、和室4万5150円〜  
(1泊2食付1名・税別)  
交通 / 電車 叡山電鉄鞍馬貴船口駅まで徒歩あり(要予約)